

あ み だ じ
阿 弥 陀 寺
だ よ り

2012年 7月 1日 第 13号

発行

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

☎ 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ☎ (096) 297-9161

✉ amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所



阿蘇・中岳火口付近

寿命 (じゅみょう)

大谷 義文

寿命とは何だろうと考える。放射能汚染、無差別殺傷事件。京都市内での暴走車の一件以来、相次いで同じことが起こる。たまたま居合わせて被害に遭われた方、突然の悲報を知らされたご家族を思うと居たたまれない。これほど「いのち」という言葉が流布しているのに、「誰でもよかった」、「考え事をしていた」、「居眠りをしてしまった」、「身勝手極まりない言葉に終焉を感じる。自分のいのちを引き伸ばすだけならそれは長生きではない自分のからだは丈夫になるだけならそれは健康ではない星野富弘氏の言葉だ。お釈迦さまは、「無寿命(阿弥陀)」と説かれた私という限られたいのちを超えた世界である。幼い頃、人間の寿命は

閻魔大王の巻物に記されてあると聞き、友だちと近くの神社に忍び込んだことがある。いのちを自分の時間に納めたかったのだろう。あれから40年。先日、納骨堂の扉の前に座り、手を合わせ語りかける姿を見かけた。まったくいのちを忘れていた自分に気づかされる。名人、三遊亭圓歌師匠の十八番を拝聴した。共に生きている慶びを感じる言葉にたくさん出遇えた。現代は、言葉を交わさなくなった。顔も見ない、文字も書かなくなった。それは、過去という「寿命」の記憶喪失に陥っているのではないかと。誰もが誰かの名を叫びたい時がある。それが、誰でもいいわけがない。しかし、記憶を失くせばただの雄叫びとなる。そんな空しさはいやだ。私たちは人間であるはずだ。



佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

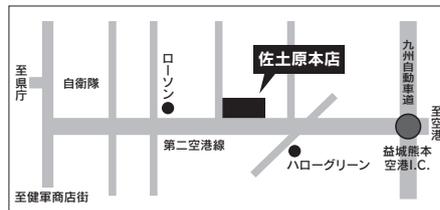
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

我等は何して老いぬらん
思へばいとこそあはれなれ

春季差向け布教勤修

2月27日(月)、春季差向け布教が勤まった。本山から差向けられた、滋賀県栗東市・称名寺の日野智深布教使に、納骨堂追弔法要・永代経と併修した。法事にご法話をいただいた。親鸞聖人のご和讃「智慧の光明ばかりなし」を引かれ、身勝手な我が身の振る舞いに気づかされた話をされた。初めて法座であつたが、たくさんの方にお参りいただいた。今後、この時期に勤めさせていただく予定である。

春・彼岸会法要



3月20日(火)、春・彼岸会法要が勤まった。岐阜県関が原町・円通寺の渋谷晃布教使にご法話をいただいた。「伝わる教え」と題して、仏教伝来、真宗興隆の歴史を話された。皆さまから、「お坊さん方なかでは常識でも、私たちには知らないことだらけ」と反響が大きく、「浄土真宗は東西本願寺しか知らなかった」、「正信偈に歴史が書かれていた」という声が続く。有意義な彼岸会となった。

安田登先生の寺子屋

6月10日(日) 3時から第2回の寺子屋が開催された。初めての方も含め30名近くの参加があった。論語の「学びて時にこれを習つ、亦説はしからずや」の漢文から、熊本藩校が「時習館」と名付けた意味を学んだ。また、「過ち」と「改める」という漢字の意味を教えていただいた。いままでも全く違う解釈をしていたことに驚いた。寺子屋では始まる前に、「語」を習つ。大きな声を出した後、とても気持ちよく学べることを知った。



「古典」は、漢字の並びを丸暗記した文法で解く。まるで「暗号」であつた。しかし、一つの漢字を甲骨文に直すことにより本来の意味を知ることができた。論語から「過ちては即ち改むるに憚ることなかれ」を引かれ、「過」は人間の本性からみ出した「過ぎた」部分である。「改」の「己」



聴聞

彼岸会法要のご法話を聞かせていただいた。インドで誕生した仏教が日本に伝来し親鸞聖人が浄土真宗を開くまでを、正信偈に登場する七人の高僧の紹介をまじえて話された。その浄土真宗という教えを伝えるなかに、佛光寺派という教団があり、その成立と歴史、他派との違いを話された。皆さま、関心が強くなるが聞きながら聞いておられた。

最後に、仏教の長い歴史の流れの最先端に、新しく「阿弥陀寺」という寺院が誕生したことの意味を強調された。それは、多くの人たちから支援とご縁をいただいたという喜びであり、また仏教との関わりが希

得度式・受式 析原真人
3月29日、京都・本山佛光寺にて得度式を受けた。9歳から70代まで全国から参加されていた。夜、ろうそくの灯火がゆれる真つ暗な本堂に、白衣を着て入場する。4人ずつ御尊前に座り、白い布を頭にかけて順番に剃刀をいただく。厳かな空気に緊張が高まる。その後、黒衣に墨袈裟姿になり宗祖の前で修行する。法名は、「釋・博真」。「博」とは何か、「真」とは何か、仏弟子としての課題を実感した。それぞれの立場や境遇は違えども、教えの元に繋がっていることを感じた。



本山 大師堂



本山 白書院

オフ・ビート
総代のつばき 1回
皆さん、こんにちは。総代の森雄です。社会保険労務士をしています。ジャズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言つぶやきたいと思えます。どうぞお付き合ひお願いします。



リトル・ガール LittleGirl あや
第9回 キレイにしましょう

今日、ミンガスを聞いた。30年ぶりに聞いた。昔の友に会ったようなとても懐かし、嬉しく感動した。ずっとずっと想い続けていた。時間の経過と共に、思い出している。また忘却の彼方に消えていく。

ジャズ喫茶。当時私は大量販店に勤務しており、宮崎から八代に体一つ転動してきたばかりであった。大学卒業したての自分は、理想と現実のギャップをいやという程思い知らされ、生きていく辛さをかみしめていた。当時精神的に疲労困憊しきっていた自分を唯一救ってくれたのがジャズであった。薄暗い喫茶店の片隅にモノトーンのミンガスのレコードジャケットがオレンジ色のダウンライトを浴び佇んでいた。JBLのスピーカーから飛び出してくる生き様を綴った音の洪水。私とジャズとの付き合いはもう40年近く続いている。

生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

成人部 漢字/臨書/かな/ペン/くらしの書 (実用書道)

生徒部 幼児・小中学生 各学年 (毛筆・硬筆)

阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン (家族・親族の安心プラン) 30万円より
他のプランもご用意。以下の内容が含まれます。

御棺一式 納骨一式 霊柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇

含まれないもの・・・ 返礼品、食卓、火葬料金

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！(24時間)
益城町宮岡 547-3 096-236-4640
携帯 080-5214-4640
メール info@kiyamasougi.com

こども能チャレンジ in あみだ寺

日程

8月17日(金) 午後 1時30分・受付
19日(日) 午後 12時30分・終了

※ 18日(土) 午後7時30分から

「おとな能チャレンジ」(参加自由)

場所

阿弥陀寺本堂 (稽古・宿泊)

講師

安田登師 (下掛宝生流・ワキ方)

槻宅聡師 (森田流・笛方)

参加費・8500円(保険料込み) 定員・15名

皆様のご参加をお待ちしております。
ご希望の方は、「ご案内・申込書」を送
付しますので、ご連絡ください。

電話 096-289-0424 (大谷)



寺子屋のご案内

安田登先生の寺子屋
第3回は、11月3日(土)
に予定しています。

元大相撲力士、一ノ矢
氏をお招きして、安田登
先生とワークシヨップを
開催します。

一ノ矢氏は初の国立大
学出身力士であり、46歳
11か月まで大相撲の土俵
に上がっていたという、
昭和以降の最高齢の記録
を持つ力士。著書は、『お

相撲さんの「腰割り」ト
レーニングに隠されたす
ごい秘密(実業之日本
社)等多数。詳細は、後
日ご案内をいたします。

こども能チャレンジ

右記の通りの日程で開
催いたします。お寺で稽
古、寝食を共にする2泊
3日の研修会です。対象
学年は、小学2年生から
中学3年生です。定員が
15名です。お早めにお
申し込み願います。
子ども達が「能」を通

して見えないものを見よ
う、気づけないことに気
づこうとする豊かな心を
学びます。また、18日(土)
の夜には、「おとな能チャ
レンジ」も開催します。
どなたでもご自由にご参
加ください。

新連載

総代の森雄二氏が「オ
フ・ビート」と題して、
JAZZに熱狂した青春
時代を回想した小文を連
載します。
オフ・ビートとは、ジャ

本の紹介



『脳を創る読書』

酒井邦嘉著

出版社・実業之日本社
定価(1260円税込)

電子書籍化が進む今、
やはり従来の「紙の本」
がよいのか、それとも、
時代の当然の要請として
「電子書籍」がよい
のか?

本書では、脳の特徴
と不思議を説き、読書
が脳に与える影響に言
及しつつ、実際に「紙

の本」と「電子書籍」
を使って読書した場合
の脳の反応について解
説する。紙の本も電子
書籍も、結局は「使う
側」の意識がカギを
握っているとしながら
も、著者が人にとって
の「紙の本」の重要性
を強調し、加えて、学
校教育の一つの提案で
ある「電子教科書」に
ついて、その安易な移
行に警鐘を鳴らす理由
とは? 「紙の本」の風
合い・質感・活字の存
在感をこよなく愛する
人も、「電子書籍」の簡
便さに魅了されている
人も必読の、脳と読書
の意外な関係。

うご相談を受けました。

そこで、永代経供養帳
にご法名、ご命日を記入
して読経いたします。

納骨堂・お墓

納骨堂、墓地、墓石を
希望される方は、ご相談
ください。

葬儀・祭壇 熊本県儀式共済グループ

ハタオ葬儀社 水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3
TEL.096-364-3220 (代)

豊住葬祭 豊住斎場

熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848 (代)